



東京大学 生産技術研究所 創立60周年記念事業

産業界でご活躍の皆様へ

同封のパンフレット「生研60」で紹介いたしました記念事業のうち、産業界でご活躍の皆様に関係の深い事業と、これまでの活動事例を以下にご案内いたします。また裏面には生産技術研究所の主な研究領域を紹介しておりますので、併せてご覧いただき、産学連携事業への参画に際してご参考にしていただければ幸いです。これらの事業の趣旨にご賛同いただくとともに記念事業へのご協力とご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

産学連携研究支援組織

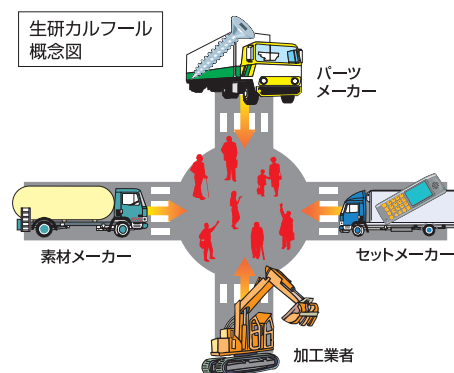
工学研究における最先端の成果は波及効果が大きく、製品及びシステム、社会基盤となるインフラ、生活支援・介護といった福祉、医薬品や医療機器、安全安心の確保、などを通して私たちの生活の隅々にまで浸透するものです。このような研究開発を推し進めるには、人・物・資金等のリソースの集中が必要となり、その機動的な運用が研究開発の成果をさらに増幅します。生産技術研究所は、研究スペースの確保、人材の確保、外部資金等の確保、を関連する企業・団体と協力して迅速に行うための産学連携研究支援組織の設置および必要な人員配置を計画します。現在、極低電力回路・システム技術開発（グリーンITプロジェクト）、バイオナノ融合プロセス連携研究センター、ナノ量子情報エレクトロニクス連携研究拠点、電場ピックアップ法表面レオロジーモニターの実用化、など多くの研究プロジェクトや研究拠点で企業等との連携研究を展開しております。

生研カルフル（企業マッチングサポート機能）

新技術の開発と同様に既存技術の発展と融合もまた新産業創出のためのブレークスルーの一つのかたちです。生産技術研究所では、規模の大小を問わず適切な企業を融合し、生研の教員を含めた領域横断的な研究開発チームを構成するための場を提供してきました。本事業では「生研カルフル」としてこの機能を強化し、異業種連携型の新産業の創出をさらに推進していきます。現在、ビークルシステム、ナノ量子情報エレクトロニクス、レアメタル、射出成形など多くの分野において、多企業および異業種企業との共同研究を展開しております。

※「カルフル」とはフランス語で十字路やその広場を指し、討論の場などの人が集う場所も意味します。

なお、これまで創出されてきた過去から現代にわたるその時代の産業技術のフロンティア等を、本所の最先端技術を用いて3Dヴァーチャルリアリティ空間へ再現し体験する事業も計画中です。



生研友の会

生研の活動を日ごろからご支援いただいている方々を中心とした「生研友の会」を新たに設置し、より広く日常的に産業界との意見交換の場を提供します。

生研特別奨学生制度

生研の特色ある研究に基づいた人材育成をより拡充するために、年間数名程度の博士課程学生を対象とした生研特別奨学生制度を創設します。

お問い合わせ先

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1

東京大学生産技術研究所 総務・広報チーム

Tel : 03-5452-6004, 6009 Fax : 03-5452-6872

E-mail : iis60@iis.u-tokyo.ac.jp

生産技術研究所における専門分野

<p>■基礎系部門</p> <p>真空界面物理 量子光学 耐震構造学 複雑流体物性 応用非線形光学 耐震工学</p> <p>表面界面物性 界面表層物性 流体物理学 多体系物理学 半導体量子スピン物性 計算材料力学物性</p>	<p>■マイクロメカトロニクス国際研究センター</p> <p>マイクロ・ナノメカトロニクス 応用科学機器学 応用マイクロ流体システム 応用マイクロシステム工学 基礎マイクロシステム工学</p> <p>マイクロ要素構成学 マイクロメカニズム マイクロマシンシステム工学 生体模倣マイクロシステム 低ダメージ微細加工技術</p>
<p>■機械・生体系部門</p> <p>海事流体力学 熱制御工学 創成加工工学 計算固体力学 プラスチック成形加工学 高次機能加工学 数値流体力学</p> <p>海洋環境工学 応用電気機械システム工学 相変化熱工学 知的材料システム工学 応用微細加工学 先端海中センサ工学</p>	<p>■都市基盤安全工学国際研究センター</p> <p>都市震災軽減工学 応用リモートセンシング 都市インフラのライフサイクルマネジメント 木質構造学</p> <p>建設材料マネジメント 地盤機能保全工学 総合防災管理工学 都市建築環境安全工学 都市交通マネジメント</p>
<p>■情報・エレクトロニクス系部門</p> <p>電力エネルギー工学 量子ナノデバイス システムVLSI設計工学 生命情報システム 電子制御システム工学 量子半導体エレクトロニクス 集積デバイスエンジニアリング マルチメディア通信システム</p> <p>ナノ・エレクトロニクス 地球観測データ工学 社会情報システム工学 多機能集積半導体システム工学 生体数理科学 ナノオプトエレクトロニクス 定量生物学</p>	<p>■戦略情報融合国際研究センター</p> <p>データベース工学 マルチメディア・データベース コンピュータ工学 視覚メディア工学</p> <p>応用マルチメディア情報媒介システム処理 ウェブ工学 電子情報学</p> <p>■サステナブル材料国際研究センター</p> <p>材料製造・循環工学 循環資源・材料プロセス工学 エコデザイン学 持続性材料化学 持続性循環資源工学 資源戦略学</p> <p>金属資源循環システム 資源分離・リサイクル工学 金属製錬・循環工学 持続性材料強度学 資源処理工学</p>
<p>■物質・環境系部門</p> <p>有機物質機能化学 マイクロ・ナノ材料分析学 有機金属機能化学 環境・化学工学 バイオマテリアル工学 光電子機能薄膜 非晶質材料設計 無機プラズマ合成 機能性分子合成 高機能電気化学デバイス</p> <p>臓器・生体システム工学 先端技術経営学 エネルギー変換材料 環境高分子材料学 環境触媒・材料科学 資源経済学 機能性錯体化学 マイクロ分析システム 分子集積体工学</p>	<p>■革新的シミュレーション研究センター</p> <p>熱流体システム制御工学 建築都市環境工学 数値流体力学 サステナビリティ設計学</p> <p>計算生体分子科学 知識ベースデジタルエンジニアリング 建築都市環境工学</p> <p>■エネルギー工学連携研究センター</p> <p>エネルギープロセス工学 先端エネルギー変換工学 地球温暖化シナリオ分析</p> <p>エネルギー需給システム 地域エネルギー変換工学 持続型エネルギーシステム</p>
<p>■人間・社会系部門</p> <p>都市形態学 都市環境史学 地理情報工学 建築都市環境工学 プロジェクト・マネジメント学 基礎地盤工学 空間構造工学 地球水循環システム 都市遺産・資産開発学 設計概念・持続社会学</p> <p>コンクリート機能・循環工学 サステナブル都市環境工学 水文気候解析とモデリング 流域水文学 建築デザイン学 環境・災害リモートセンシング 空間システム工学 都市再生工学 電波水文学 広域生態環境計測</p>	<p>■海中工学国際研究センター</p> <p>海中ロボット学 海洋音響システム工学 海中海底工学</p> <p>深海工学 海洋生態系工学 海中情報応用計測学</p> <p>■先進モビリティ研究センター</p> <p>交通工学 視覚情報工学 制御動力学 高度交通システム工学 産学連携/ITS人材開発 産業技術政策</p> <p>科学技術政策 知的制御システム 応用音響工学 ロボティクス 機械生体システム制御工学</p>
<p>■高次協調モデリング客員部門</p> <p>高次材料計算物質科学</p>	<p>■ナノエレクトロニクス連携研究センター</p> <p>量子ナノデバイス 量子半導体エレクトロニクス 集積デバイスエンジニアリング ナノ・エレクトロニクス</p> <p>ナノオプトエレクトロニクス ナノ構造スケッチコピー/単一量子デバイス</p>
<p>■ニコン光工学寄付研究部門</p> <p>量子光学</p> <p>光工学</p>	<p>■バイオナノ融合プロセス連携研究センター</p> <p>マイクロメカニズム マイクロ・ナノメカトロニクス</p> <p>応用マイクロ流体システム 臓器・生体システム工学</p>
<p>■カラー・サイエンス寄付研究部門(ソニー)</p> <p>応用非線形光学</p> <p>カラーサイエンス</p>	<p>■LIMMS/CNRS-IIS (UMI2820) 国際連携研究センター</p> <p>応用マイクロ流体システム 応用マイクロシステム工学 量子ナノデバイス マイクロ・ナノメカトロニクス 集積デバイスエンジニアリング 応用科学機器学</p> <p>臓器・生体システム工学 マイクロ分析システム マイクロ要素構成学 マイクロメカニズム マイクロマシンシステム工学 生体模倣マイクロシステム</p>
<p>■先端エネルギー変換工学寄付研究部門</p> <p>先端エネルギー変換工学</p>	
<p>■モビリティ・フィールドサイエンス(タカラトミー) 寄付研究部門</p> <p>制御動力学</p> <p>準静電科学</p>	